



## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本農業株式会社

コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	39,217	△14.8	5,030	△50.7	4,681	△51.5	2,727	△57.5
27年9月期第3四半期	46,028	0.2	10,211	7.7	9,662	3.0	6,421	1.8

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 △1,591百万円 (—%) 27年9月期第3四半期 7,002百万円 (6.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	40.81	—
27年9月期第3四半期	96.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	86,600	48,420	55.0
27年9月期	81,237	51,034	61.6

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 47,601百万円 27年9月期 50,061百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年9月期	—	7.50	—		
28年9月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	△9.5	4,000	△59.8	3,500	△62.7	1,000	△82.2	14.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期3Q	70,026,782 株	27年9月期	70,026,782 株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	3,188,596 株	27年9月期	3,188,266 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期3Q	66,838,281 株	27年9月期3Q	66,839,473 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、為替の急速な円高の進行の企業収益への影響がみられるものの、設備投資の持ち直しや雇用情勢の改善など緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、景気の先行きは中国を始めとするアジア新興国や資源国経済の下振れ懸念に加え、英国の欧州連合(EU) 離脱に端を発した金融資本市場の変動の影響など依然不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは自社開発品目の普及拡販と海外事業の拡大を目指しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外農薬販売において園芸用殺虫剤「フェニックス」の技術導出先への原体販売が前期で終了したことや、ノウハウ技術料収入の大幅な減少などから392億17百万円（前年同期比68億10百万円減、同14.8%減）となりました。利益面においてもノウハウ技術料収入の減少や為替の円高への進行などから営業利益は50億30百万円（前年同期比51億80百万円減、同50.7%減）、経常利益は46億81百万円（前年同期比49億80百万円減、同51.5%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失として「製品回収関連費用」を計上したこともあり、27億27百万円（前年同期比36億94百万円減、同57.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

#### [農薬事業]

国内農薬販売では、新製品5剤の販売を開始し品目ポートフォリオの拡充を図るとともに、「フェニックス」を始めとする自社開発品目の普及拡販に努めました。また、農薬原体販売では園芸用殺虫剤「ハチハチ」の当用期に向けた販社への販売が好調に推移しました。しかしながら、農薬需要の縮減傾向に加え、販売競争の激化や水稲用除草剤の伸び悩みなどから国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、病害虫の小発生や天候不順による過年度の在庫調整などからアジアならびに米州における販売が低調に推移しました。さらに、「フェニックス」原体の技術導出先への販売が前期で終了したことや為替の急激な円高への進行などから海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

なお、ノウハウ技術料収入は技術導出先の主要販売地域での流通在庫の影響などから同導出先の販売が低迷し、前年同期を大幅に下回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は346億33百万円（前年同期比71億60百万円減、同17.1%減）となり、営業利益は40億22百万円（前年同期比54億75百万円減、同57.6%減）となりました。

#### [農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の販売が伸び悩みました。一方、医薬品事業では、本年4月より佐藤製薬株式会社ならびに株式会社ポーラファルマが販売を開始した外用爪白癬治療薬「ルコナック」の原薬として外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の供給を開始したことなどから売上高が伸長しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は32億29百万円（前年同期比3億51百万円増、同12.2%増）となり、営業利益は12億90百万円（前年同期比3億66百万円増、同39.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ53億63百万円増加し、866億円となりました。これは、投資有価証券の減少を上回る現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ79億77百万円増加し、381億80百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ26億14百万円減少し、484億20百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加があったものの、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が悪化したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月13日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年8月5日）発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の摘要)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及  
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時  
点から将来にわたって適用しています。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報  
告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、国内連結子会社において、平成28年4月1  
日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,382	10,492
受取手形及び売掛金	14,181	22,106
電子記録債権	585	1,631
商品及び製品	9,485	9,965
仕掛品	436	517
原材料及び貯蔵品	4,239	3,456
その他	3,166	3,407
貸倒引当金	△19	△23
流動資産合計	41,455	51,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,191	5,125
機械装置及び運搬具（純額）	3,172	3,214
土地	6,382	6,240
その他（純額）	1,073	865
有形固定資産合計	15,820	15,446
無形固定資産		
のれん	5,836	4,768
その他	1,009	962
無形固定資産合計	6,845	5,730
投資その他の資産		
投資有価証券	13,438	10,332
その他	3,734	3,545
貸倒引当金	△58	△8
投資その他の資産合計	17,115	13,869
固定資産合計	39,781	35,046
資産合計	81,237	86,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,947	5,149
電子記録債務	501	699
短期借入金	3,161	8,218
未払法人税等	1,029	234
賞与引当金	669	377
その他の引当金	50	40
営業外電子記録債務	55	83
その他	6,256	6,439
流動負債合計	16,672	21,243
固定負債		
長期借入金	9,020	12,482
退職給付に係る負債	1,900	1,829
その他の引当金	97	87
その他	2,511	2,537
固定負債合計	13,530	16,937
負債合計	30,202	38,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	26,319	28,044
自己株式	△1,725	△1,726
株主資本合計	48,768	50,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,766	1,279
為替換算調整勘定	△314	△4,002
退職給付に係る調整累計額	△159	△167
その他の包括利益累計額合計	1,292	△2,891
非支配株主持分	972	818
純資産合計	51,034	48,420
負債純資産合計	81,237	86,600



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	46,028	39,217
売上原価	24,189	23,132
売上総利益	21,839	16,085
販売費及び一般管理費	11,628	11,054
営業利益	10,211	5,030
営業外収益		
受取利息	10	30
受取配当金	87	84
不動産賃貸料	58	61
為替差益	—	313
その他	73	64
営業外収益合計	229	555
営業外費用		
支払利息	75	120
為替差損	149	—
たな卸資産廃棄損	61	70
持分法による投資損失	374	646
その他	118	67
営業外費用合計	778	905
経常利益	9,662	4,681
特別利益		
固定資産処分益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産処分損	7	54
製品回収関連費用	—	311
特別損失合計	7	365
税金等調整前四半期純利益	9,654	4,325
法人税等	3,194	1,586
四半期純利益	6,460	2,738
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,421	2,727

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	6,460	2,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	786	△487
為替換算調整勘定	40	△1,627
退職給付に係る調整額	11	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△295	△2,206
その他の包括利益合計	542	△4,329
四半期包括利益	7,002	△1,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,958	△1,456
非支配株主に係る四半期包括利益	44	△134

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

製品回収関連費用

当社グループが供給している原薬の製造に関して、独立行政法人医薬品医療機器総合機構によるGMP（製造管理および品質管理の基準）適合性検査が行われ、GMP管理上の不備が指摘されました。これに伴い、供給先による製品の自主回収がなされておりましたが、今般、供給先による製品の自主回収等に伴う当社グループの負担額が一部決定し、特別損失として「製品回収関連費用」311百万円を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,793	2,878	44,672	1,356	46,028	—	46,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	—	5	740	746	△746	—
計	41,799	2,878	44,677	2,097	46,774	△746	46,028
セグメント利益	9,497	923	10,421	259	10,680	△469	10,211

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△469百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円、未実現利益の調整等2百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農薬」セグメントにおいて、平成27年3月にHyderabad Chemical Pvt.Ltd.の株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当第3四半期連結累計期間における、同社株式取得に伴うのれんの増加額は5,027百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,633	3,229	37,863	1,354	39,217	—	39,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	2	8	728	737	△737	—
計	34,639	3,232	37,872	2,082	39,954	△737	39,217
セグメント利益	4,022	1,290	5,312	304	5,617	△586	5,030

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△586百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△548百万円、未実現利益の調整等△38百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。